

「世界を変えるデザイン展

～Imagine another life through the products～」開催のお知らせ

世界を変えるデザイン展実行委員会と、日本財団、特定非営利活動法人CANPANセンター（*注1）は、2010年5月15日から6月13日の間、BOP（Base of the Pyramid）（*注2）への取組やその意義をデザインの視点から日本で初めて紹介する「世界を変えるデザイン展～Imagine another life through the products～」を東京ミッドタウン・デザインハブとアクシスギャラリーの2会場において開催いたします。

先進国におけるデザインは、世界総人口のほんの10%程度を対象にしているに過ぎません。これからのデザインの使命は、世界総人口の約70%を占めるといわれる途上国における貧困層の人々の生活向上のためにも果たされるべきであると考えます。

「デザインは、人間の本当の要求にこたえるような道具となるのでなければならない。それは、革新的で高度に創造的な、そしてもろもろの分野を貫いたものとなるのでなければならない。それは、いっそう強く研究をめざすものでなければならない。そして、われわれは、デザインのまずい品物や構造物で地球そのものを汚すのをやめなければならない。」『生きのびるためのデザイン』ヴィクター・パバネック著

東京ミッドタウン・デザインハブでは、実際に現地で使われているプロダクト約40点から、現地のニーズや課題を感じ取っていただく展示になります。アクシスギャラリーでは、BOPへの取組みを積極的に推進している教育機関や企業、各種団体によるプロジェクトをデザインの視点から紹介、進行中のプロジェクトを含めその背景やプロダクトの開発プロセス、今後の課題、デザイナーのこの分野における役割を紹介する予定です。

つきましては今後のデザインの大きな方向性と可能性を示唆する本展をぜひ貴媒体にてご紹介いただけますようお願い申し上げます。

なお、会期中、海外より研究者などを招聘し、カンファレンスやワークショップを開催予定です。別紙参照、詳細は、<http://exhibition.bop-design.com/> まで。

*注1：CANPANセンターとは、民(NPO)、産（企業）、学（学術団体）の活動を支援し、三者の連携を促進することにより民間主体のより豊かな社会づくりに貢献する特定非営利活動法人。

*注2：BOPとは、「所得別人口構成のピラミッドの底辺層を指す。世界人口の約7割に相当する約40億人が、年間所得3000ドル未満の収入で生活しており、その市場規模は5兆ドルに上ると言われる。BOPビジネスとは、企業が途上国においてBOP層を対象にビジネスを行いながら、生活改善を達成する取組のことである。慈善事業ではなく、持続可能性のある本業のビジネスとして行う点において、CSR活動をさらに発展させたものと言える。」（経済産業省ウェブサイトより）

世界を変えるデザイン展実行委員会

展覧会名称：「世界を変えるデザイン展～Imagine another life through the products～」

入場料：無 料

主催：世界を変えるデザイン展実行委員会、日本財団、特定非営利活動法人CANPANセンター

会場と会期（2会場の会期は異なります）：

●東京ミッドタウン・デザインハブ（港区赤坂） 共催：東京ミッドタウン・デザインハブ
5月15日(土)～6月13日(日) 11:00 - 19:00

●アクシスギャラリー（港区六本木） 共催：アクシスギャラリー
5月28日（金）～6月13日（日） 11:00-19:00（最終日は17:00まで）

特別協賛：大和証券株式会社 後援：アメリカ合衆国大使館、オランダ王国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、JICA 他 協力：デルフト工科大学、英治出版株式会社、平和紙業株式会社、株式会社山田写真製版所、国際協力NGOジョイセフ、社）シャンティ国際ボランティア会、プランジャパン 他 企画協力：アクシスギャラリー、財団法人日本産業デザイン振興会

運営：株式会社Granma 会場デザイン：芦沢啓治 他 グラフィックデザイン：中野豪雄

読者お問い合わせ先（株式会社Granma内）：Tel.:03-3793-7210

E-mail:sekai_design@granma-port.jp、<http://exhibition.bop-design.com/>

■本件に関するお問い合わせ：アクシス佐野恵子

Tel.:03-5575-8391、Fax:03-3583-0199 E-mail:sano@axisinc.co.jp

主な展示作品（予定）

*写真については、参考写真です。

東京ミッドタウン・デザインハブでは、約40点、アクシスギャラリーでは、約15プロジェクトを展示予定です。

[デザインハブ展示予定のプロダクト] *一部変更になる可能性もあります。



LifeStraw:

貧困層の多くの子も達が危険な水を飲んで命を落としている。
→チフス、コレラ、赤痢や下痢等の水の媒介する病気の予防。
(Vestergaard Frandsen Group製、2006年
ガーナ、ナイジェリア、パキスタン、ウガンダで使用)



Qdrum:

頭に水を乗せて運ぶことで身体への害が生じる、時間がかかる。
→女性や子どもでも楽に水を運べる。
(P.J.&J.P.S.ヘンドリクス製、1993年
ケニア、南アフリカなどのアフリカ地域で使用)



Jaipur foot and Below-knee Prosthesis:

足がないことで、生活・仕事への支障が生じる
→両足を歩くことができ、生活・仕事ともに安定につながる
(マスター・ラム・チャンドラ・シャルマ、P・K・セッティ博士制作、1968年
東南アジア、南アジア、中東、アフリカなどで使用)



Bamboo Treadle Pump:

乾期になると雨が降らず収穫できない
→地下水を汲みあげることでも水を作る

(ラングプール、ディナジプール、グンナー・バーンズ(IDE)デザイン、2006年、
バングラディッシュ、カンボジア、インド、ミャンマー、ネパール、ザンビアで使用)



Moon light (energy):

灯油ランプによる空気汚染及び健康被害
→ソーラーランタンによるサステナブルな電力の利用
(カンボジアで使用、kamworks製 Delft Universityデザイン、2009年)



Wind Turbine:

灯油ランプなどの危険なものが主である
→風のでクリーンなエネルギーをつくる
(グアテマラで使用、CATAPULT Designデザイン、2008年)

主な展示作品（予定）

*写真については、参考写真です。

[アクシスギャラリー展示予定のプロジェクト] *一部変更になる可能性もあります。

■デルフト工科大学(オランダ)

ヨーロッパのBOPへの取組においてハブ的役割を担い、Philipsや他の組織との協働プロジェクトも手がける。デルフト工科大学(オランダ)の考え方や事例を紹介。

■Philips(オランダ)

現地における入念なリサーチと共にBOP向けのプロダクト開発に力を入れている。



My reading Light (energy):
太陽が沈んだ後では家で子供たちが宿題ができない
→Solar Energy+LEDの宿題専用ライトで夜も読み書きができる。
(2009年 アフリカ)

■One Laptop Per Child プロジェクト



One Laptop Per Childは、ニコラス・ネグロポンテ氏の「最貧層の子供たちに教育を届けること」を目的にスタート。初代XOに続き、次世代のXO3(イヴ・ペアール:デザイン)が2012年に発売予定。

XO3:
タッチスクリーンの薄型タブレット。75ドル(予定)



Antivirus:
使用済み注射針から感染症発症
→針を安全に回収してウィルス感染を予防。
(Yellowoneデザイン、2005年)



Envirofit:
調理中にする煙や有毒ガスのため肺ガンや気管支系の病気を発症。
→熱効率を高め、調理時間を40%短縮し、燃料消費を60%削減。煙や有害なガスを80%削減できる。簡単に掃除でき、メンテナンスもしやすい。1つのストーブで家庭の収入を年間50~75ドル向上させ、CO2排出量を年間1~1.5トン削減する。
(Envirofitデザイン、2007年)

■IDEO(米)



IDEOが参加したプロジェクトなどを編纂したオープンソース型「ヒューマンセンタードデザインツールキット」を紹介。

デザイン：中野豪雄



世界を変える デザイン展

imagine
another life
through
the products

カンファレンス・プログラム

カンファレンスでは、国内外よりBOPビジネスの現場で働く第一人者や、BOPビジネスの研究者を招き、テーマごとに講演を行います。

詳細および最新情報、申し込みは、本展ウェブ <http://exhibition.bop-design.com/> まで。4月1日より受付開始予定。

カンファレンス会場：東京ミッドタウン・カンファレンス(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー4F)

■5月15日(土) エマージングマーケットの現状を知る *同時通訳付き

・13:30-15:00 「現地プロダクトの流通、その生態系を語る —22か国96万人に生きる希望を与えてきた義足」
スピーカー:Devendra Raj Mehta氏(Jaipurfoot創設者)

・15:30-17:00 「現場の生態系を考え、未来をつくる企業戦略
—小規模農業者の収益を10億ドル向上させてきたIDE」
スピーカー:国際開発エンタープライズ(IDE)より。調整中

・17:30-19:00 「ライフストーリーはいかにして生まれたか？
—オランダ発エマージングマーケットにおける大学・企業間連携」
スピーカー:Vikram Parmarl氏(デルフト工科大学 デザインエンジニアリング担当准教授)

■5月16日(日) Design innovation ~世界を変えているデザイナーたち~ *同時通訳付き

・13:30-15:00 「デザイナーができること —WE BELIEVE DESIGN CAN CHANGE THE WORLD」
スピーカー:Jan Carel Diehl氏(デルフト工科大学 サステナブルデザイン担当准教授)

・15:30-17:00 「エマージングマーケットにおけるデザインの可能性」
スピーカー:Ilona de Jongh氏(Project H Designニューヨーク事務所代表)

・17:30-19:00 「Sense and simplicity —インハウスデザイナーが創出するニューマーケット」
スピーカー:*調整中

■6月12日(土) 日本が世界にできること~エマージングマーケットの可能性を探る~

・13:30-15:00 「タイトル未定」
スピーカー:*調整中

・15:30-17:00 「企業内アクターに求められること」
スピーカー:*調整中

・17:30-19:00 「世界を変えるショートプレゼン」
スピーカー:中小企業&デザイナー10組×5によるショートプレゼン

ワークショップ・プログラム

ワークショップではゲストと一緒にワークに取り組み、参加者同士でゲームに参加してBOPプロダクトの理解を深めるなどのプログラムを用意しています。

詳細および最新情報、申し込みは、本展ウェブ <http://exhibition.bop-design.com/> まで。4月1日より受付開始予定。

ワークショップ会場:

東京ミッドタウン・デザインハブ内国際・デザイン・リエゾンセンター
(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

■5月17日(月) 13:00-18:00

「世界を変えるデザイン・実践編～世界を変えるプロダクトのつくり方～」 Produced by デルフト工科大学

■5月18日(火) 13:00-18:00

「世界を変えるデザイン・実践編～Design revolution workshop～」 Produced by Project H design

■5月22日(土) 13:00-18:00

「南北問題を考え、世界の構造を体感してみるワークショップ」 Produced by 開発教育協会

■5月23日(日) 13:00-18:00

「形にしないワークショップ

～若者の防災意識啓発、防災力向上のためにできること part 1～」(*) Produced by NPO法人プラスアーツ

■5月29日(土) 13:00-18:00

「現地の生活環境に配慮したデザイン開発」 Produced by 益田文和(株式会社オープンハウス)

■5月30日(日) 13:00-18:00

「食卓越しを感じる世界とのつながり」 Produced by 古屋典子(外務省・地球環境大使夫人)

■6月5日(土) 13:00-18:00

「形にしないワークショップ

～若者の防災意識啓発、防災力向上のためにできること part 2～」(*) Produced by NPO法人プラスアーツ

■6月6日(日) 13:00-18:00

「九大発、エマージングマーケットにおける産学共同開発」

Produced by 九州大学(リコー、モバイルテクニカ 予定)

■6月13日(日) 13:00-18:00

「デザインはどこまで世界を変えられるか? (仮)」

Produced by アクシスギャラリー、(財)日本産業デザイン振興会

*については、2日間のワークショップとなります。